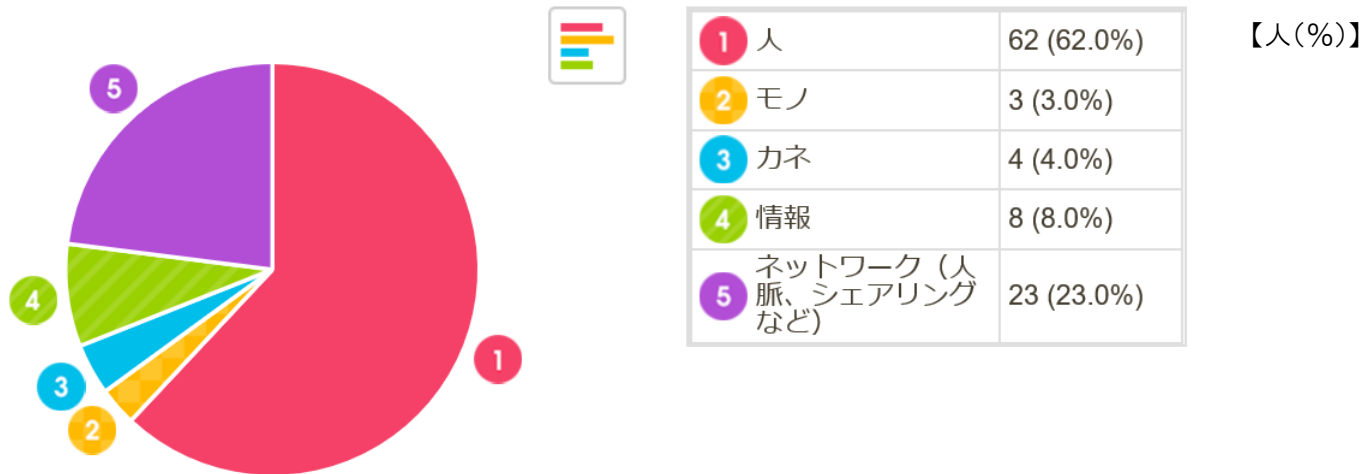


設問 1. 観光振興に必要なものは

- ✓ 過半数(62%)が「人」を選択しており、“リーダーシップ”を發揮し、“限られた資源を活用”する“地域人材(キーパーソン)”の必要性を感じている方が多い。
- ✓ 選択肢①～⑤に関わらず、“連携”や“つなぐ”という言葉がキーワードとなっている。①～⑤全ての要素が上手く組み合わされるには、という視点で回答されている方が多数見られる。

回答者:100人



●自由記述(原文、無回答は省略)

①	力強いリーダーシップが必要なため
	やはりキーパーソンがいらないといけないと思うから。
	人がいなければ、何もできない。
	人のネットワーク力、人の知恵
	モノ、カネ、情報、活かすも殺すも人次第
	情熱
	山陰には人材の母数に限りがあるため、1人でマルチタスクの業務をする必要がある。
	本気でやる気のあるバイタリティのある人材をチームにして法人を立ち上げることが良いと思います
	地域の素材を活かし経済効果を生み出すのは人
	自然を魅力あるものとして紹介するのは人。無から有にするのはひと
	地域(次世代)への愛が無ければ、地域づくりは上手くいかない。
	リーダーシップ
	やはり人がいないと、ただの通過点にしかならないと思う。
	知見、熱意
	地域の魅力を表現できるのは、地域に住む方だと思うからです。
	リーダーシップを發揮して、周囲を巻き込んでいく必要があるため
	マネジメントできる戦略人材と、マーケティング等の専門人材、そしてコミットできる地域人材が必要。
	地域のありたい姿は、地域住民にしか描けないから。
	最後は人。
	汗をかく!
	山陰は人が少ないので、一人ひとりが貴重な資源です。
	人がいないと何も始まらない。人が繋がっていく仕掛けも必要。
	限られたリソースを活かすのはひとだから

	モノや金は、後付けでなんとかなる。まずは人がいないとはじまらない!
	継続性、拡大性を図るために、人が不可欠です。
	人があって、すべてがはじまる
	やる気のある人が少ない!
	核となるキーマンが必要だと思います。
②	人脈、地域コネクション、経験等
	まず金を生み出せる人があって金が生まれる
	プレイヤーがいなければ試合はできない。舞台は整わない
③	継続性が重要であり、プロパー人材の人材育成が必要。各機関からの期間限定の寄せ集め人材では継続性と一貫性に疑問。継続した活動に期待しております。
	カネがベースにあるとヒト、モノが集まるから。
	やる気はあっても、財源がなく、できる事が限れる
	良い人材、良いアイデアが結集した計画もボトルネックは金になってしまうため。
④	人、モノ、金、情報、ネットワーク、それぞれ単体に強くても難しいです。バランスよく、優先順位をつけて、スピード感を持って回せる「人」が、地方の慢性的な人材不足の中で必要だと思います。たとえ、それぞれが不足したとしても、人の力、アイデア、スピード感があれば、他をカバーできることも多いです。
	人から始まるから
	まず、人の意識・行動力(観光を地域戦略として活かす感覚を持った人材の蓄積・広がり)が何より重要。
⑤	個別の地域、事業者の情報連携・相互送客等による相乗効果で質の高いサービスを提供するため
	個々の思い・頑張り、タイミング良くかたちにしていく必要があるため
	人、もの、金、情報を結び付けるものがこれ。
	互いの強みをつなぐ。アウトプット、可能性を最大限に出すためには連携が必要。連携の中には、多様性を生かすメリットがある。
	連携によって初めて事業がリアルに動き出すものだから。
	ヒトモノカネ・情報、それぞれを繋いで活かす事が必須であるから
	相乗効果が大事
	関係性をもって有機的につながることで相乗効果が期待できる。
	山陰地方では横の連携ができていないから
	やはり連携でしょう。
	繋がりが重要
	択一的には選べない。
	情報やコネがなく人だけでは振興につながらないため。
	一人では何もできない
	観光はひとりではなりたたない。様々な業種の参加が必要
	まず、観光素材を見つけることだと思ったので。
	情報をみて旅行の計画をするので
	情報が入手できれば人が集まるのではないかと思うから
	人がモノ、カネ、情報、ネットワーク全てに繋がる
	モノ、カネ、情報は、ヒトがいなければ使えない
	地元リーダーがいなくなるとなにも始まらない。